

Inspiration Theme : WILD ワイルド



WILD

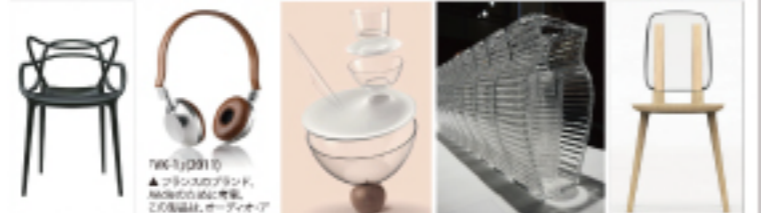
「ソフト」と「ハード」を両方併せ持つ対立させる概念。「ワイルド」という言葉は、ラテン語の「Syklos(森)」に由来する「黒黒」という概念も想起させ、未知のものに対する恐れと恐れ。そして未知の動物の存在も感じさせます。「ワイルド」とは、究極の野生性です。私達は、今までは知られてしまった自然との絆を懐かしむ思いに、動き込まれています。インスピレーション・スペースは、深い森の雰囲気と向い、「ワイルド」本来の概念から始まります。暖かな、または涼やかなフォルムと、イエロー、グリーン、ブルー、グリン、カーキ、アーシーブラウン、褐色、アントラサート(炭酸色)も、掛け色といったカラーを中心とした色合いを取り上げています。テクスチャーも、それが「時勢の不変定常性」を表現しているときは特に重要で、

■トレンド観望者のメンバー Francine Bernard (Coburnet), Elizabeth Leitch, Vincent Gagnon (NellyOdy)

Designer of the year Maison & Objet 2016 : Eugeni Quilliet



ユージェニー・キトレ カタロニア出身。バルセロナのアーティスト Le Ilija 卒のデザイナー。自らをインダストリアル・ドリーマーという彼は、1992年にイビサで生まれ、その後バルセロナに移り住みました。オブジェから空間デザインまで、独自の持ち味で生活環境を私達に提案する、デザイン界の巨匠の一人です。 <http://eugeniquilliet.com/>



Masters (2009) ▲ 木の椅子、Tiki (2011) ▲ 木の椅子、Tiki (2011) ▲ 木の椅子、Tiki (2011) ▲ 木の椅子、Tiki (2011) ▲ 木の椅子



Tiki (2011) ▲ 木の椅子、Tiki (2011) ▲ 木の椅子、Tiki (2011) ▲ 木の椅子

2016年は、メゾン・エ・オブジェは各賞に1人のデザイナー・オブ・ザ・イヤーを贈っている。メゾン・エ・オブジェ・パリにおいて、選ばれた2人のデザイナーが、それぞれのプロフィールにより近いセッションへと分けられる。1月にはプロダクトデザイン、4月にはインテリアデザイン多岐にわたるセッションの分野により結びつき強い人物となっている。



▲左から、インスピレーション・スペース、カフェ＆ブックストア、カンファレンス・スペースの構成



▲新しいインスピレーション・フォーラムは、フランス・ベルナール・コブネットによるインスピレーション・スペースを提供しています。



ものごとの本質を伝えることはできません。無数の瞬間と瞬間への関わりの中で自然が再び感じられ、野性的なものから穏やかなものになるまで全ての瞬間が繋がります。テクニロジーやデジタル化によって作られる、瞬間に繋がった世界と対峙する空間は無限大です。より野性的な空間、手ごたえのある空間、自然の要素を取り込みます。現代のクリエイションは、ワイルドな精神を呼び起こします。私達は、リセットする必要があると立ち上がるのです。フォルムや素材は再び自然の要素と結びつき、ゆるやかな上での厳格さを保ちます。ワイルドな空間は、本質的なもの、真実なもの、しびつなもの、興奮したもの、驚いたものなど多岐にわたります。私達たちは、新たな空間の構築を通じて、従来の空間に再び自然の要素を取り込みます。デザイナーたちは、デザイナーのように、確かな意思決定力や創造的な力を取り戻します。Wild House(野生に立ち戻りましょう) Make a Mark, インスピレーション・ブック編集



▲インスピレーション・ブックのゲームをメインにエリザベス・トリッシュがデザイン。インスピレーションの要素を伝えるためのグラフィック空間、ワイルド・カフェ＆ブックストアへと続きます。



■H&M 7, L'ESPACE CONFERENCE 2016.1.22-23の4日間、セミナーが開催されました。H&Mでは、3-4回 / 1日の開催で、計21セミナーが行われました。

- セミナー一覧: 1/22 WILD: THE MAD OBSERVATIONS THEME, 1/23 WILD: ECO-DESIGN BY WCM / WFP / WJ EQUATION FOR THE FUTURE, 1/24 WILD: WILDNESS IN DISPLACEMENT, 1/25 WILD: URBAN SPACES ARE FILLING WITH PLANTS AND POSTURE, IS THIS THE START OF THE AGE OF GREEN ARCHITECTURE?

■今回の展示会では、ブラック&ホワイトのメリハリが、昨年以上に強くなった事が、一番印象に残った。新しく見えて来たカラーとしては、グリーン系。また、パターン的にはサイケデリックの精行きに、ブライト程度の強めのカラーを取り入れネオサイケデリックな提案が増えている。オレンジ系は、ピンク味にシフト。モダンデストを上手く表現している2~3色使いのカラーリングも増えている。インディゴを始めたブルー系は、まだまだ堅固。多くの配色で、アイボリーの使い方が重要。エスニックパターンをモダンに見せるカラーリングが今年らしいカラーの見せ方になっている。

A grid of images and text blocks categorized by color trends: Black & White, Green Variation, Bi-color & Repetition, Orange & Pink, Indigo & Turquoise, and Color Mix. Each category includes small photographs of furniture and fabric samples.

■2016年クオリティーの傾向としては、特別な手法を使って自然のテクスチャーにより近い物を表現したり、自然のマテリアルを全く真似たアイテムに完成させたりするケースが多く見受けられた。編織として昨年も多かったリネンも、その神髄の繊維であるジュートやヘンプ、アバカなどを使用したアイテムまで広がりを見せている。ベーシックなファブリックとして、プレーンなベルベットがデコオブで特に多かった。また、ダメージ系のファブリックも増加中。光沢のある物としては、ゴールド&シルバーが多かったのも今回の傾向と言えると思う。銅は今年かなり減っている印象だった。

A grid of images and text blocks categorized by material quality: NATURE SURFACE, GLOSSY FINISH - GOLD / SILVER, and others. Each category includes small photographs of fabric and material samples.

A grid of images and text blocks categorized by material quality: LINEN / JUTE / ABACA, DAMAGE IMPRESSION, PLAIN VELVET, and SOFT TOUCH. Each category includes small photographs of fabric and material samples.